

安心・快適なまちづくりを

今年の主なハード事業を紹介

銀河線踏切跡の傾斜を緩和

特集

町では、「安心・快適なまちづくり」をめざして、さまざまな事業を実施しています。
今年度実施している各種事業のうち道路整備などを紹介します。

【交通安全対策工事（踏切跡地）】

ふるさと銀河線の踏切跡で傾斜のある路線を12月下旬までに整備します。
（工事費＝3工区合計 3,790万円）

⑤相内線工区

東幸町の町道北2条線から南12線までの延長120mを整備しています。最大1.4mの高低差を解消し、見通しを良くします。
幅員は、両側の歩道を含めて13.5m。



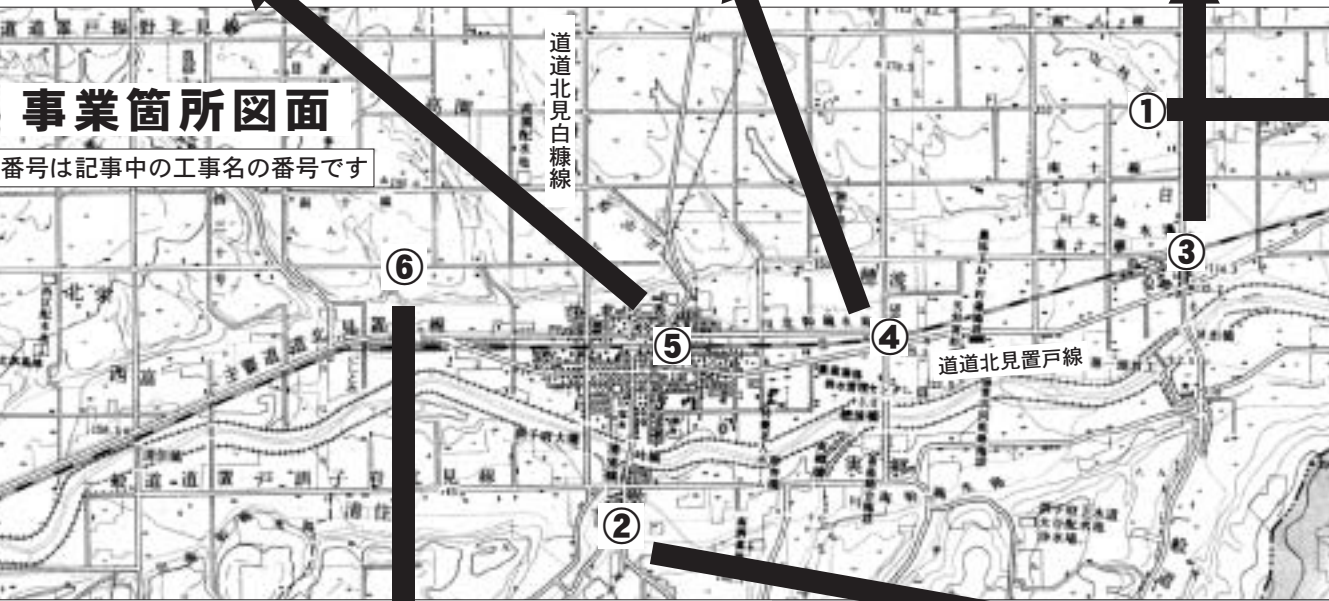
④西21号線工区

銀河線穂波乗降場横で、道道北見置戸線から町道南12線まで延長40mを整備しています。道道交差点の停止位置の急傾斜を緩和して交通安全を図ります。幅員は7.5m。



③西17号線工区

日出町の町道日出駅前線から町道南11線までの延長81m（幅員は歩道を含め11.5m）を整備し、段差を解消します。



事業箇所図面

番号は記事中の工事名の番号です

【農道整備】

①道宮柏丘Ⅱ期地区農免農道整備事業（工事費 8,510万円）

平成16年度から20年度までの事業で、今年度は、南9線西19号から西20号までの延長540mの道路舗装と、西17号から19号まで延長1,025mの道路改良を実施しています。12月に完了予定。



【農道整備】

⑥道宮高園地区一般農道整備事業（工事費 3,280万円）

平成12年度から実施している事業で、20年度に全面完了します。今年度は、高園地区の南11線西27号から29号の延長1,065m、幅員6mの舗装を行い、10月末で完了しました。



【公営住宅整備】

②末広団地公営住宅整備実施設計

末広町にある昭和48年、49年建築の8棟28戸を平成20年度から改修する予定で、今年度中に実施設計を完了させます。

